

「医療材料のマネジメント」では、DPCの導入により、より重要化している医療材料のマネジメントを、専門家、先進的取り組みをされている方に貴重なお話をいただくことができました。この他、シンポジウムは医療安全、医療と介護の連携、NST、ICT、チーム医療、DPC、ジェネリック医薬品に関して合計7セッションを行いました。どのテーマも現代の病院運営の根幹に関わるものであり、熱心なご講演と活発な討論をいただきました。クリティカルパス総合セミナーは、クリティカルパスの基本からバリエーション分析、オーダリング、電子カルテ、DPCへの対応について、広く深く講義していただきました。一般口演は合計89セッション、431演題のご発表をいただきました。そのうち20セッション、103演題が医療安全であり、医療安全への関心が高いことをあらためて認識させられました。今回の学術総会では、一般口演も含め、シンポジウム、セミナーのテーマが重ならないように注意深くプログラムを組みましたが、医療安全については発表演題数が多いため、2日目は、医療安全に関する一般口演は、同時に別会場で2セッションを平行して開催せざるをえないほどでした。ポスター発表は102演題、クリティカルパス展示は146の発表がありました。ポスターやクリティカルパスを前に真剣な議論がされました。初日の夜、ロイヤルパークホテルで会員懇親会を開催しました。ジャグラーのKajaさんと、国立病院機構相模原病院の金田悟郎先生チームのデモンストレーションがあり、会場は大いに盛り上がりました。

2日間の会期中、ボランティアとして、横浜医療センターの職員、看護学生、神奈川地方会の方および会員所属施設の職員の方、北里大学や国立病院機構関東信越ブロックの方などの多くの方々に学術総会の運営にご協力いただきました。また、なによりも会員、参加者の皆様に支えられて、総会は盛会裡に終了することができました。今回の学術総会の参加者の多さと溢れるばかりの熱気からみると、日本医療マネジメント学会は今後もますます必要とされることになると予想され、来年以降のさらなる発展を確信いたしました。最後に企画の段階から閉会式まで、ご指導、ご協力いただいた理事長はじめ、理事、評

議員さらには会員の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して

NTT東日本関東病院緩和ケア科 堀 夏樹

5月10日、Webを開くと、緩和ケア病棟でやっている「看取りのクリティカルパス」の学会報告に対して、大きな賞をいただけるという速報メールが届いていました。夢ではないかと思いつつ、大変なことになった、というのが正直なところでした。

学術総会に参加するたびに、本学会は裾野が広がるばかりでなく、頂がどんどん高くなる感じていました。それは、すべての職種が参加するという画期的な事実以外に、いままでほとんど省みられなかった「マネジメントという概念」そのものの大きさがこれを支えているように思います。そんな発展性のある学会で名誉ある会長賞をいただけるといわれても、本当にわれわれがそれに値する仕事をしたのか、という実感が乏しいのです。

しかし、「緩和ケアにおける看取り」という個別性が高い分野でも、クリティカルパスというツールは有効である、という新しい事実を見つけたとは考えています。ここから見えてくるさまざまな問題を、新たな手法で分析し、患者家族のQOL向上に役立てたい、との思いも、受賞を契機にいつそう強くなりました。こうした励みを授けていただいた学会に対して御礼申し上げるとともに、一会員として、今後も学会の発展に寄与できれば幸甚です。



学術総会会長賞表彰式

## 「研修医のためのクリティカルパス活用ガイド」

編集：医療マネジメント学会 B5判/160頁/2004年10月刊/定価2,100円（税込）

この度、医療マネジメント学会編集による、書籍『研修医のためのクリティカルパス活用ガイド』（出版社：じほう：定価2100円）が刊行されました。クリティカルパスは、医療の質と効率を向上させる最適の臨床マネジメントツールとして、多くの医療施設で活用されています。また、クリティカルパスによる医療では、医師、看護師をはじめとする関連する職種のスタッフが、情報を共有して医療にあたるため、チーム医療の向上にも大変役に立っています。一方、クリティカルパスの使用にあたっては、そこに盛り込まれた医療内容を十分理解し、使用規定に従わなければなりません。

2004年4月からスタートした医師の臨床研修制度では、その到達目標の経験目標として診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用出来るとされています。

本書は、臨床研修を開始した研修医が、クリティカルパスの全容を理解し、実際に活用出来るように配慮し企画されました。研修医はもとより研修指導医あるいはクリティカルパスに、これから取り組もうとする各種医療従事者にも十分に役に立つ内容になっています。ご一読をお勧め致します。（国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 野村一俊）

問い合わせ・申込先：株式会社じほう

<http://www.jiho.co.jp>

〒101-8421

東京都千代田区一ツ橋2-6-3一ツ橋ビル5階

TEL 03-3265-7751 FAX 03-3265-7769

FAXフリーダイヤル 0120-657-769

〒541-0046

大阪市中央区平野町2-3-7 アバンティス北浜ビル

TEL 06-6231-7061 FAX 06-6231-4520

FAXフリーダイヤル 0120-189-015